

知床適正利用・エコツーリズム戦略 起草作業（ウトロ）

日時：平成 23 年 1 月 18 日(火) 10:00～12:00

参加者：山本氏（ガイド協議会） 遠山氏（斜里山岳会） 杉野氏（自然公園財団） 山中氏・寺山氏（知床財団） 河井氏・岡田氏（斜里町） 樋口氏（北海道） 栗谷川氏（林野庁） 野川・中村（環境省）

主な意見

現在使えない箇所を使える用にする仕組みをつくる。

具体的な話をボトムアップでする。

利用のアイデアを利用側から提案する・

利用の計画はブロック単位、アクティブティ単位で行えるようにする。

アイデアを具現化するために規制担当、専門家をメンバーに入れ、具現化する方向で調整する。またその進み方・進捗を地域報告する。

ルール作りを行い、試行し、モニタリングを行うといった一連の計画をまとめ、検討会議で承認する。

承認されたものがそのルールの中で利用する。

その場に対して先着順で決まっていく。

上記については、バックカントリー的利用を進めるにあたっての考え方であり、マスツーリズムについては別途形があると思われる。つまりは対象分けをする必要がある。

安全管理のための規制が強すぎる。社会観念を変えるくらいでなければならない。

